



「あれ、もう日曜日？あのお店に行ってもう一週間たったんだ」なんてつぶやいている間に6月が過ぎていきました。活気のある毎日と言えは、聞こえはいいですが、もしかすると、ゆっくり言葉を交わしあう時間が少なくなっていないか、振り返ってみる時期なのかもしれません。一年のちょうど真ん中ですからね。春からの忙しなさに、ちょっと顎が上がってくるこの時期、「このままでいいのかな」「この選択でよかったのかな」と、心配になったり迷いがでてきたりするかもしれません。そんなとき大切なのは、話し合うこと、言葉にすること、分かり合うことなんだと思います。お話する時間をたくさん作っていきましょう。よろしくお願いします。「これでいいんだ」と思えると、忙しさにも元気と勇気が湧いてくるものですよね。

## —7月・8月の予定—

7月5日（水） 地域連携日（児童・放デイ共にお休みです）  
 7月12日（水） ST（児童）  
 8月10日（木）～18日（金）夏休み（児童・放デイ共にお休みです）



## ＝お知らせ＝

### 《あんずの夏休みについて》（児童・放デイ共通）

8月10日（木）～8月18日（金）まで、さぼねっとステーション（あんず&日向）は夏休みをいただきます。お休み中、連絡が必要な場合は、**あんず携帯 080-8703-9655** までお願いします。その他の日は、通常の支援となります。日向の相談支援事業も同様です。

### 《兄弟姉妹の夏休み》（児童）

7月下旬から8月いっぱい、お兄ちゃんお姉ちゃんは夏休み。いろんな予定が組まれていると思いますが、あんずに一緒に来る場合もあるかと思いますが、是非一緒に楽しんでいてください。但し、クラスの支援の時間は、参加を控えていただきますので、たまった宿題や、お絵描き等お部屋でできるようなグッズを持参してください。お弁当の注文も可能です。無理なく楽しめるよう工夫していきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。

尚、お子さんの怪我、物の紛失、破損等につきましては、保護者の方の責任の下となりますので、ご了解ください。



## ☆☆お礼☆☆

6月も、おもちゃや箱ティッシュ、チャイルドシート、オープントスター等をいただきました。目立たないグッズかもしれませんが、スムーズな支援には欠かせないものばかりです。ありがとうございます。大切にに使わせていただきます



## マカロンクラスの6月あれこれ

6月になって、巧技台運動にトランポリンが登場しました。朝の会で練習して、目で見て体験してから、さあチャレンジ!!、、、お母さんと手をつないで、バランスをとりながら、身体全体を使って跳ぶみんなの顔は、「できたよ！」と誇らしげです。

やってみて「楽しいな！」と感ずることが“好きなこと”へつながり、

「できた！」を積み重ねることで、“自信”へとつながっていくのだと思います。

朝の会での日付け確認も、あんずで毎回やっているのだから“見慣れたもの”になり、併用先での向かいやすさにつながっているようです。

子ども達があんずで積み重ねてきた力が、夏のひまわりのように、高く高く育っていくのを、となりで見たい私たちです。



## フリンクラスの6月あれこれ

フリンクラスの朝の集まりで定番の楽器遊び。

童謡や季節に合った『今月のうた』を歌いながらみんなで楽器を鳴らします。

6月は「あめふりくまのこ」でした。優しいメロディに心地よい詞（ことば）、

何ともいえない切なさがある、いい歌ですよ!!お母さんたちから、「この歌、好きです」という声もいただきました。

月初めの頃は、“なんだ？わからないなあ”や“あれ？この前とちがうぞ”という表情の子ども達。でも、お母さんたちがニコニコ歌っていると、子ども達もなんだかうれしくなって楽器をフリフリ！シャカシャカ！クラスが一気に賑やかになります。

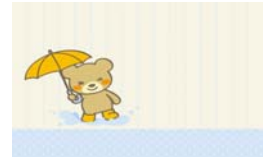
そして、回を重ねるごとに“これこれ！知ってる！”や“ほら、早く歌ってよ！”に変わってきました。“幼稚園でも歌っているよ！同じ！”と教えてくれたプリンさんも…♡

お母さんが好きな歌、歌ってくれた歌は、子ども達も好きになりますね。

親子で楽しめる歌が増えていくといいなあと思います。

さあ、7月は「しゃぼんだま」でいきますよ～！

『今月のうた』のリクエストもお待ちしていま～す。



## 保育所等訪問支援の6月



“クラスが落ち着いてきた”とは、こういう姿を言うんだなと、伺わせていただいたどの園でも感じた6月でした。担任の先生と子ども達との間にリズムカルな阿吽(あうん)の呼吸が生まれ、小気味よいやりとりがクラス内の無駄な動きを減らしていて、とても過ごしやすそうです。

私たちは、支援に入っているその子の目線から、『全体がどう見えているのか』『何がわからず何に困っているのか』といった視点で一緒に過ごしていますが、そんなクラスの変化に、その子達も過ごしやすくなっているのが手に取るようにわかります。行事の練習や、それに向けての制作の時間、ちょっと手を止めて、周りを笑顔で見渡している場面があると、「楽しく吸収できているな」と、ニンマリしてしまいます。まさにこれから、一人ひとりの細かい部分へのお手伝いだなと、心の中で腕をまくりました。7月もよろしくお祈りします。

## 放デイのひと一言

活動の中で毎月1回は「ディスクで遊ぼう」の週があります。理由はさておき、先月からドッチビーディスクの枚数も増え、交代することもなく、基本のキャッチアンドスローが全員でできるようになりました。

すでに経験しているお兄さんお姉さんと初めての一年生が組み、向かい合ってキャッチアンドスローの始まり。最初は上手くいかない一年生も、お兄さんお姉さんの「ここだよ。こうやって」の声かけで、徐々に飛ぶようになりつつあります。

縦割りの良い関係を築いていければと思います。

カラッと晴れて暑い日、じめじめと湿度が高く蒸し暑い日と、梅雨特有の天気が続き、「熱中症に注意」の呼びかけを耳にする機会も多くなってきました。あんずでも、活動の途中や終わりに水分補給の時間を取り、熱中症に注意していきたいと思います。



## つながりリレーコラム 第9回目は、ジョイスタディーの 大澤和子 さんです。

ジョイスタディーからは3人の小学生が、あんずでお世話になっています。また、保護者の方が、月に一度の相談に通っているそうです。

ジョイスタディーは、「一人ひとりに寄り添う学習支援事業」と申しまして、主に、生きにくさを抱えたお子さんの学習支援をしております。スタッフが13名。小学生から高校生まで、29名の小さな学習室です。地域に奉仕したいというキリスト教会のご厚意で運営させていただいています。

私は、退職前の60日間を、6年生の崩壊クラスのピンチヒッターの担任をさせていただきました。40年近く教員をさせていただいて、退職前の年のこのクラスが、一番大変でしたが、いちばん心に残っています。おかげで、子どもたち一人ひとりに、愛情をかけて、丁寧にかかわることの大切さを教えていただきました。そして<ダメな子なんていない>と思えるようになりました。<ダメな子>を育てているのは大人です。子ども達が、今ここに生きているのには意味があって、使命があって生まれてきているはずですから、大人は、子どもの良さや可能性を見つけて、伸ばしてあげる役割があると思います。

とはいうものの、うまくいかず試行錯誤の日常ですが、保護者の皆さんと共に、子どもたちの傍らに立てる幸せをかみしめています。

あの時、崩壊クラスを受け持たせていただけなかったら、また、キリスト教会が場所を提供してくれなかったら、ジョイスタディーの29名の子どもたちや保護者の皆さんとのつながりはありませんでした。そして、「あんず」さんとの関わりもなかったでしょう。

このように思うと、すべての出来事や人とのつながりは、偶然ではなくて、幸せな人生を生きるための必然だと思えるのです。

愛のある“あったかい”つながりが、家庭や地域や社会を変えていくのだと、しみじみ思える昨今です。

